（別紙4（2））

事業所名　グループホームなぎみ苑

目標達成計画

作成日：　平成　　27年　　6月　　25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域への積極的な参加が少なくなっており、グループホームで完結している事が多い。	一般社会、地域の催し等に参加し社会交流を広げていく。	積極的に企画し皆さんが参加できやすい様に支援する。（地域の行事、文化祭、運動会、お祭り等）	３～6ヶ月
2	37	集団での支援が難しく、個々の方が満足できる支援となっているか。	個々の希望に合わせ、その方に合った満足して頂ける支援を提供する。	職員が工夫し、マンツーマンで対応。 本人の話しに耳を傾け表情、しぐさからも感じ、提供していく。 ゆっくりしたい方はゆっくりして頂き、家事をこなしたい方は家事を、自分から表現できにくい方・レクリエーションに参加できにくい方には個々に付き添い対応する。 外出も生まれ育った地、思い出のある場所・行きたい所への外出支援とする。	1～3ヶ月
3	38	以前、好きだった畑仕事、草取り、家事等、介護度がすすみできにくくなっている方への対応。	好きだった頃の気持ち、尊厳を失わない様に支援していく。	体調も考慮し無理のない様にしながら参加できやすい様にし、野菜・花が育っていく段階を見て頂いたり、日光浴をして頂いたり、家事もできやすい様工夫し、家庭の雰囲気・季節感・楽しみや生きがいを感じてもらえる様にする。	1～6ヶ月
4					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。